PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

01-303135

(43)Date of publication of application: 07.12.1989

(51)Int.CI.

A61B 8/06 A61B 8/14

G01S 13/28 G01S 15/10

(21)Application number: 63-134259

(71)Applicant: YOKOGAWA MEDICAL SYST LTD

(22)Date of filing:

31.05.1988

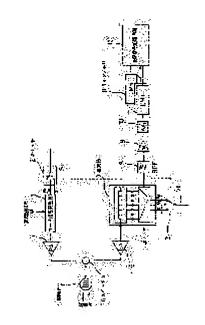
(72)Inventor: TAKEUCHI YASUTO

(54) DISPERSION COMPRESSING SYSTEM PULSE ECHO SYSTEM TRANSMITTING RECEIVING DEVICE

(57)Abstract:

mode by switching alternately a switching means at the time of the B mode, modulating and transmitting a high frequency signal with the code of a complementary system code, converting it to a compressed waveform, transmitting the high frequency signal modulated by a simple system code at the time of the doppler mode and restoring it by a kernel. CONSTITUTION: When a B mode image is obtained, a switch 2 is connected to a BA contact for both S1 and S2, and a code A of the code of the complementary system is inputted. A code signal generator 1 modulates a high frequency signal with a code signal, and an echo signal converted to an ultrasonic wave with a probe 5, transmitted into a subject to be tested and reflected is converted to an electric signal with the probe 5, inputted to a correlation device 7, compressed and processed and stored into a line memory 11. The switch 2 is connected to a BB contact. and the output signal is compressed to a BB contact and the output signal enters the correlation device 7 and is compressed by a kernel equivalent to a code B. The switch 2 is alternately switched, a signal by codes A and B is transmitted and received, compressed and successively written into

PURPOSE: To obtain a beautiful image for both B mode and a doppler



the line memory 11. At the time of the doppler pulse, both S1 and S2 of the switch 2 are connected to a D contact and an M system signal is inputted to the code signal generator 1.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

BEST AVAILABLE COPY

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

19日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

◎ 公開特許公報(A) 平1−303135

⑤Int. Cl. *

識別記号

庁内整理番号

43公開 平成1年(1989)12月7日

A 61 B 8/06 8/14 G 01 S 13/28 8718-4C 8718-4C B-6707-5 J

13/28 15/10

B - 6707-5 J 6903-5 J 審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5 頁)

❷発明の名称

分散圧縮方式パルスエコーシステム送受信装置

②特 願 昭63-134259

②出 願 昭63(1988)5月31日

⑩発 明 者 竹 内

窜 人

東京都立川市栄町6丁目1番3号 横河メデイカルシステ

ム株式会社内

⑪出 顋 人 横河メデイカルシステ

東京都日野市旭が丘4丁目7番地の127

ム株式会社

明 和 魯

1. 発明の名称

分 後 圧 縮 方 式 パル スエコーシステム 送 受 信 装 習

2. 特許請求の範囲

3. 発明の詳細な説明

(産衆上の利用分野)

本発明はBモードイメージングとドブラ検出と を同一音場内で交互に切り替えながら行う分散圧 縮方式パルスエコーシステム送受信装置に関する。 (様来の技術)

商周被信号を送信して送信時と受信時の時間登を測定することによって反射体の送信点からの距離又はその分布を測定する装置は、例えばレーダ・ソナー、超音波診断装置等数多くあるが、その送受信の方式に分散圧縮方式と呼ばれる方式がある。この分散圧縮方式というのは狭幅の高振幅パルスを送波を形として用いる代わりに、これを分散化して、段幅の低振幅パルスに変換して送信し、受信時に逆の処理を行う(圧縮する)方式である。

分散圧縮方式の内、特にゴーレイコード等の相補系列を時分割的に用いたものは、Bモードイメージング時にはタイムサイドローブが実質上器にできるので非常に好ましい。

(発明が解決しようとする課題)

しかし、ターゲットに時変性もしくはドブラシストがあると、タイムサイドローブの相殺が完全

特開平1-303135(2)

には行われないので消え残りが生じ、特にそれが MTI処理されたのちドブラ情報中に粉らしい形 で現れるという問題がある。そこで、分散圧縮方 式が真価を発揮するのはSN比が問題になる中距 超ー遠距離又は通常手段では及ばない更に遠距離 においてであることに注目し、近一中距離では通 常のパルスエコー方式又は短いコード長の分散圧 **稲方式を用い、中一選距離では長いコード長の信** 身か、又は、1つのピンの長さがより長い信号か、 或いは中心周波数(「。)をより低く取った分散 圧幅方式を採用するというように距離に応じて使 い分けをすることが考えられる。しかし、そのよ うな方法では、相補系列を用いると強大なクラッ 夕に弱いドプラシフトがあるときに、粉らしい凸 出力がMTIフィルタの出力に現れるという問題 は解決されていない。コード長が長りればタイム サイドロープ自体も相対的に低下するので、ドブ ラシストによるその消え残りも相対的に小さくす み、多少救済される点はあるにしても、問題であ ることは間違いない。

とを具備することを特徴とするものである。 (作用)

日で一ド時は切り替え手段の1回路の2接点を交互に切り替えて招補系列のコードで高周波信号を変調して送信し、前記切り替え手段の他の回路の2接点を連動して切り替えて適合したカーネルにより圧縮波形に変換する。ドブラモード時は他の1接点により単純系列コードで変調した高周波信号を送信し、連動した接点からのカーネルにより復元する。

(実施例)

以下、図面を参照して本発明の実施例を詳細に説明する。

第1図は木発明の一実施例の要部構成プロック図である。図において、1はB A 、 B B ・ D の3 本の入力線を有し、B モードのときは一対の相補系列の信号が交互に入力され、ドブラモードのときはM 系列コードが入力されて、それぞれのコードにより高周波信号を変調して出力するコード信号発生器である。2はS 1 ・S 2 の 2 回路を有

本発明は上記の点に揺みてなされたもので、その目的は、Bモードではタイムサイトローブの消去された画像信号を得、ドブラモードではクラッタのドブラシフトによるタイムサイドローブの消え残りというような問題を生することのない分散 圧縮送受信方式パルスエコーシステムを実現することにある。

(課題を解決するための手段)

する2回路3接点のスイッチで、S」はコード信 号発生器 1 へのコード入力のために、B モードで はBA、BB接点を交互に切り替え、ドプラモー ドのときは D 接点に接続している。 3 は送信用コ ード化商周波信用を電力増幅する送信増幅器(以 下PAという)、4は送信信号が受信回路に行く のを遮断し、受信信号が送信回路へ行くのを防止 する送受切り替えスイッチ(以下TRスイッチと いう)で、出力信号は探触子5により送受波され る。 6 は受波された微弱な高周波信号を増幅する 受信増幅器(以下RAという)、7はスイッチ2 のS,によって選択されたカーネルによって入力 された分散波形の循母を圧縮波形の信号に復元す る相関器である。8は不要な高周波成分や低周波 成分を除去するための帯域値波器で、出力信号は RA9で増幅されて、AD変換器10でディジタ ル循母に変換される。11は相関器7で圧縮され た信号を高周波のまま格納するラインメモリで、 LM」、LMz … LMn のロ個のメモリで構成さ れている。12はラインメモリ11の出力信号を

特開平1-303135(3)

B モード、ドブラモードのそれぞれのモードに応 じて信号処理をする通常の後段信号処理回路であ る。

次に、上記のように構成された実施例の装置の 動作を説明する。先ず主としてBモード像を得る 場合について説明する。スイッチ2はSi,Sz 共にBA接点に接続される。入力コード信号は相 補系列のコード (ゴーレイコードとする) の内選 択された一対のコードの、コードAを入力する。 コード信号発生器1は高周波信号をコード信号で 変調してPA3に送る。PA3で増幅された信号 はTRスイッチイを経て探放子5で超音波に変換 され被検体内に送波される。被検体内から反射さ れたエコー信号は探触子5において再び宿気信号 に変換されて、TRスイッチ4を軽てRA6で増 幅される。このエコー信号は相関器7に入力され るが、スイッチ2のSzがBx按点に入っていて コード信号発生器1に入力されたコードAに適合 したカーネルが入力されており、圧縮処理されて 出力される。圧縮されたエコー信号はBPF8で

がコード信号発生器1に入力される。或いは単純、にコード化しないパルス又はパーストを採用してもよい。この送受信の結果の信号はラインメモリ11のLMi~LMnに 順々に入力されるので、これらの信号から1次のMTI(Moving Target Indicator)又は高次のMTIを成すように後段信号処理回路12で差分又は高次のディジタルフィルタ処理を行う。回路動作は既述の通

りなので説明を省略する。

不要な信号を除去され、RA9で増幅され、AD
変換器10でディジタル信号に変換されてライン
メモリ11に入力されて格納される。

主目的がドプラバルスのときは、スイッチ2の Si.Sz 共にD接点に接続され、M系列の信号

る。即ち或る 1 本の音線で相補系列 A と B のコードで 各 1 何送波し、次に単純系列のコードで 7 回送波する。これを繰り返すことにより B モードとドプラモードの像を得る。

第2図のシーケンスはね順次のモードを意味するが、ファンピーム送波・マルチピーム送波を行うときはね群順次と云うべきな動作も考えられる。この方法は先ず128音線(1フレーム分)を行る。次に単純のでは、128音線を各7回ずつ送受信し、6次のMTIフィルタを介して1回面のドブラードで2回、ドブラモードで2回、ドブラモーム分の所で、合計9回送受信をするので1フレーム分のでで、合計9回送受信をするので1フレームの所で時間は9×(1/30)を与して1

上記のような方法を採用できる理由について述べておく。ドブラの場合の受信信号はダイナミックレンジは血球の反射は弱いので左程大きくなく、従って同じ理由でSN比もよくない。従ってタイ

特開平1-303135(4)

ムサイドローブを要にできない単純系列を用いて も、それ自身のタイムサイドローブが問題になり、 ゴーストが現われることは実用上ないと云うこと ができる。しかし、それに対してBモードイメー ジの場合はレベルもダイナミックレンジも遙かに 大きいので、静止エコーにタイムサイドロープを 生するとイメージ上に視認できるゴーストとなっ て現われるため問題となる。以上の理由からBモ ードイメージが主目的のときはゴーストの出ない 相補系列を用いる方式が絶対に必要であるが、ド プラ(MTI)イメージが主目的のときには、副 次的なBモードイメージに現われるゴーストは推 性にしても、Bモードなの商レベルのクラッタの 使かなドプラシストから生するタイムサイドロー プがドプラ(MTI)ィメージ上に競合するレベ ルのゴーストとなって干渉することを避けるため 相補系列を使用しないで、単純にその都度その1 回のパルスシーケンスの中で圧縮(相関)処理が 完了できる単純系列を用いればよいというよりも むしろ用いた方がよいと云える。

- 例を示す図、第3図は本発明を実施する音場走査モードの他の例を示す図である。

1 … コード信号発生器

2 … スイッチ

3 --- P A

5 … 探触子

7 … 和 図 器

11…ラインメモリ

特許出願人 横河メディカルシステム株式会社

高、本発明は上記実施例に限定されるものではない。例えば単純系列としてM系列を採用したが、 パーカーコードやチャープ信息を用いてもよい。 又、スイッチはハードウェアで行ってもよいが、 又ソフトウェアで行うようにしてもよい。

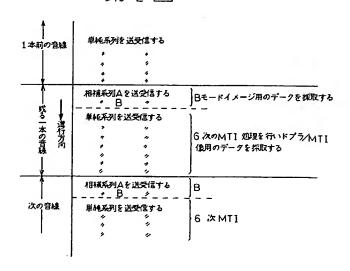
(発明の効果)

以上詳細に説明したように、木発明によれば、日子にはタイムサイドローブの消去された画像が行られ、ドブラ(MTI)モードではククのドブラシフトによるタイムサイドローブの消えなりがゴーストとして現われるということがでかんなる。従って最遠方で分散圧縮方式の利点を全がして日子ード、ドブラ(MTI)で一ドとの強い心臓等の組織部をも合んでBモード、ドブラ(MTI)像ともに良好な像を行ることができるようになり、実用上の効果は大きい。

4. 図面の簡単な説明

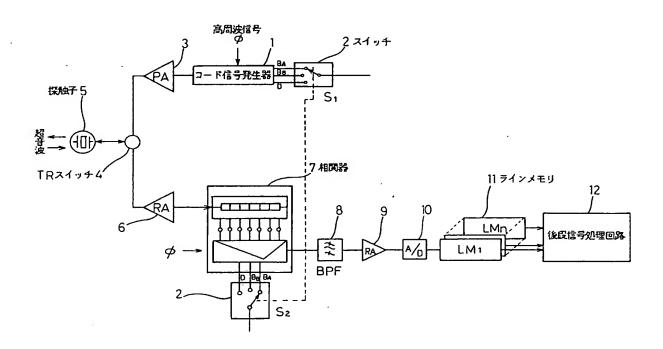
第1図は木発明の一実施例の要部構成プロック 図、第2図は本発明を実施する音場走査モードの

第 2 図

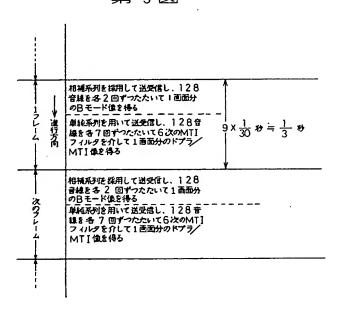


特開平1-303135(5)

第 1 図



第 3 図



This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☑ BLACK BORDERS	
☑ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES	
☐ FADED TEXT OR DRAWING	
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING	
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES	
☑ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS	
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS	
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT	
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY	
OTHER:	

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.